

# つばさクリニック NEWS

**新人職員紹介** 今年4月から6月にかけて入职した4名をご紹介します。

<p><b>看護師</b></p> <p>たけだ <b>竹田 かおり</b></p> <p>趣味 お菓子作り、手芸</p> <p>皆様に頼っていただける存在になれるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p><b>看護師</b></p> <p>たぶち みか <b>田淵 実加</b></p> <p>趣味 読書</p> <p>フィクションからノンフィクションまでハマると色々読みます。戸惑いも多いですが一生懸命頑張ります。</p>
---	---

<p><b>管理栄養士</b></p> <p>ほりえ けい <b>堀江 啓</b></p> <p>趣味 台所しごと</p> <p>在宅医療での食支援に携わりたいと思い入職しました！ご本人ご家族が安心して過ごせるようにサポートさせていただきます。</p>	<p><b>メディカルアシスタント</b></p> <p>こやなぎ ゆうじ <b>小柳 裕志</b></p> <p>趣味 釣り</p> <p>現在、倉敷の地理と奮闘中です。安全安心にアシストできるように早く成長したいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
--	--

**訪問診療のあれこれをラジオ番組で放送中!!**

**日時** 毎月第3木曜日 14:30～(10分程度)

放送局 FM ぐらしき 82.8MHz パーソナリティ 大谷 利文

「訪問診療とは?」「在宅療養を支える職種は?」「家族の負担は?」など、在宅医療に関する話を分かりやすくお伝えする番組です！FMぐらしきのホームページでも聴けますので、ぜひ聴いてください！

ゲストとして、つばさクリニックのスタッフ+αが月替わりで登場します！

企画・運営 エフエムぐらしき 協賛 つばさクリニック

**※今後の放送予定：7月16日・8月20日・9月17日・10月15日**

<p><b>つばさクリニック</b></p> <p>定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応</p> <p>診療科目 訪問診療・内科 循環器科・呼吸器科・整形外科</p> <p>〒710-0047 岡山県倉敷市大島534-1 TEL 086-424-0283 HP: www.tsubasa-clinic.net</p>	<p><b>つばさクリニック岡山</b></p> <p>診療科目 訪問診療・内科・小児科</p> <p>〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町1-7-7 TEL 086-254-0283 www.tsubasa-okayama.net</p>
--	---

2020年7月発行  
第35号

# つばさ新聞

## 理事長のコメント

車の窓から見える木々の葉が青々と生き茂る季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？今年も暑くなりそうですね。私自身も日頃からの水分補給を心がけています。皆様も定期的に水分補給をして熱中症対策を心がけてください。

さて、新型コロナウイルス感染拡大による非常事態宣言が解除され、日常が戻りつつあります。マスクの着用や人と人との間隔を保つなど、新しい生活様式にも慣れていく必要があります。つばさクリニックは、患者様のお宅へ医療と安心を届ける立場として、責任と自覚を持った行動を続けてまいります。

(医療法人つばさ 理事長 中村幸伸)

## 院長就任のご挨拶

このたび、7月1日付けをもちまして、つばさクリニック（倉敷）院長に復帰いたしました岡田です。2年間の休職中は第60次南極地域観測隊の医療隊員として、南極昭和基地にて勤務しておりました。今後は南極での経験を活かしつつ、つばさクリニック（倉敷）院長として最善を尽くしてこの重責を全うする所存でございます。現在、「コロナ禍」という大変な状況ではありますが、職員一丸となって頑張っておりますので、今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(つばさクリニック 院長 岡田 豊)



## 災害に備えていますか??

毎年のように、大雨や台風などによる洪水や土砂災害、高潮などが発生し、多くの被害がでています。さらに、今年には新型コロナウイルスの流行により、今までとは違う心掛けが必要になります。いざというときの備えに日頃から取り組みましょう。

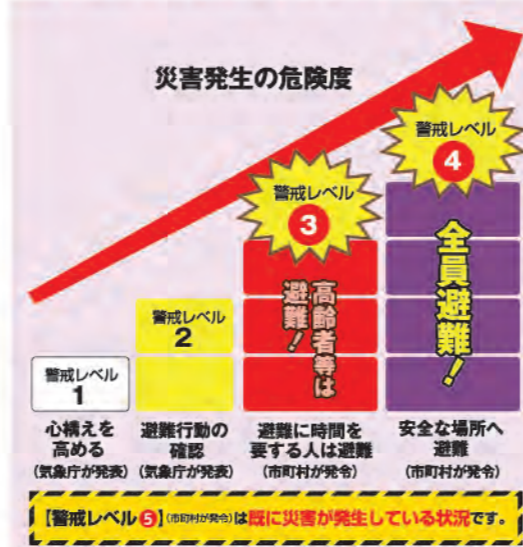
### ○どこへ避難すべきかしっかり話し合ひましょう!

ハザードマップを活用しながら事前にご家族やご近所で話し合っておきましょう。避難所での新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ可能な人数が限られてきます。親族や友人のお宅、自宅の高いところなども場合によっては安全です

### ○警戒レベルを確認しましょう!

警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始情報」が発令された場合、避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方、避難を支援する方などは安全な場所へ避難しましょう。

※いざというときは地域での支えあいも大事です!



参照：気象庁テキスト「大雨や台風に備えて」政府広報オンライン



## Dr.岡田の南極物語リターンズ



### 第2回：南極にはどうやって行ったの?

通常、南極観測隊はオーストラリアから砕氷船「しらせ」に乗り南極昭和基地に向かいます(写真1)。しらせでは、海洋観測を実施しながら進むため、基地に到着するまで実に3週間かかります。また暴風圏を通過する際に船が大きく揺れるので、船酔いに悩まされることになります。しかし、今回僕はドームふじ基地に行くメンバーに選ばれたため、しらせではなく、特別に飛行機で南極へ行くことになりました。

本隊より1か月早い2018年10月31日に日本を出発し、まずは一般の飛行機で南アフリカのケープタウンに入りました。南極の天候回復待ちで1週間滞在となりましたが、11月8日にロシアの軍用機(イリュージン：写真2)に乗り、6時間かけて南極のノボラザレフスカヤ基地に移動し、翌9日小さなプロペラ機(バスラターボ)に乗り替え、5時間かけて昭和基地沖の海氷上に降り立ちました(写真3)。南極観測隊員でも滅多にない飛行機での南極入り。僕にとって貴重な経験になりました。



## つばさの食支援探訪



管理栄養士 長畑 雄大

### 【胃ろうのある患者さんからのご相談】

胃ろうを使って栄養をとっておられる患者様から多くのご相談をいただきます。ご相談いただく内容は、

- ・今の栄養剤を見直したいのだけれど、どれを選べばいいの?
- ・同じ量の栄養剤をとってたけど太ってきました!
- ・痰がとても多いです

などです。

一口に栄養剤といえど、実は多くの種類があります。特定の病気に対応したもの、栄養の成分は同じなのに量が少ないもの、保険適用でお薬として出してもらうもの、食品として購入するものなどがあり、患者様が色々と悩まれるのも当然です。私が胃ろうの患者さんから相談を受けたときに、以下のようなことを考えながら提案しています。

#### ①必要な栄養素と、とりすぎ注意の栄養素それぞれの量は?

病気の状態を症状や血液検査結果、体格なども考慮しながら必要な栄養素を割り出します。これをはっきりさせたくて、栄養剤を見直したり、栄養剤以外に注入しても良いものも提案したりします。

#### ②生活の中で無理のないお食事のタイミングは?

必要な間隔をあけての注入が大事なのですが、消化吸収の速さは個人差があります。そのため、どなたがするのか?いつ注入するのか?などの情報が大変重要です。ご自宅でご家族や訪問看護師さんが実施するのか、外出先のデイサービスなどで介護の方がされるのかなど、生活スタイルやご都合も考慮して提案しています。

#### ③適正な水分量は?

喉が渇いている事を伝えることのできない患者さんも多く、ご家族がとても悩まれるのが水分量です。私は痰の量やおしっこ量と色などから判断しています。お使いの栄養剤の種類によって水分の量も違うため、栄養剤を変更される方は特に注意しています。

これらの視点を大事に、「患者さんがしんどくないかな?」「ご家族は安心できているかな?」という事を気かけながら、胃ろうからの栄養指導に取り組んでいます。



## 当院の新型コロナウイルス対策



訪問診療と往診を継続し、地域の在宅患者さんの療養を支えるために、**新型コロナウイルス**に対して、以下のような対策を実施しています。皆様、引き続きご理解・ご協力の程、よろしく申し上げます。

### 診療での対策

- ・診療時のマスク着用の徹底
- ・診療前後の手指消毒を徹底
- ・診療毎に診療機材の消毒を徹底
- ・必要に応じ、ガウンやフェイスガードの使用
- ・患者さんの体調だけでなく、その同居ご家族の体調(発熱や咳)の確認

### 院内での対策

- ・毎朝の体温測定や体調管理
- ・常時マスク着用
- ・定期的な院内換気
- ・電話機やドアノブなどの設備の消毒
- ・時差出勤やテレワークの実施
- ・来客者への手指消毒とマスク着用



3つの「密」を避けましょう



マスクを着用しましょう



手を洗いましょう